

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	世羅町立世羅小学校		
学校長氏名	新庄 譲児	栄養教諭氏名	來山 のぞみ
職員数	32名	児童・生徒数	349名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・ 家族の中で食に関する話題や一緒に調理をする経験の有無など、家庭により食への関心に差がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

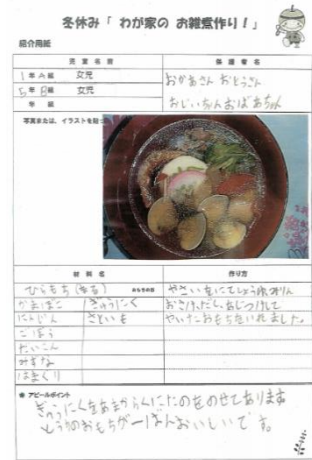
- ・ 家庭と連携した食育を進めるため、親子で栄養のバランスを考えた食事作りに取り組む。  
目標値は、学校内外の栄養のバランスを考えた食事作りに応募する家庭の割合を全家庭の70%以上とする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 校内・家庭での調理体験の充実に向けた取組について

① 料理コンテストへの応募

「ひろしま給食レシピ（県）」「つくってみようよ！自分の朝ごはん（県）」「たすきでつなぐ世羅の食育レシピコンテスト（町）」「わが家のお雑煮づくり（校内）」に参加し、家庭で調理する機会を設定し、優秀作品は校内表彰と掲示、ホームページへの掲載を行った。



② 食生活改善推進員との連携

- 4年生 ≪ 学活 ≫・・・自分で簡単に作れるおやつ作り
  - 6年生 ≪ 家庭科 ≫・・・1食分の朝食作り（主食・主菜・副菜）
  - クッキングクラブ・・・親子で作れるおやつや主食作り（全7回）
  - ファミリークッキング・・・夏休み期間中2日間（希望者11家庭）
- 献立を検討し、家庭でも実践できる内容とした。

【取組2】（テーマ） 地場産物の活用 ～ 地域への理解を深める ～

① 毎月19日『たすきでつなぐ世羅の食育 ～ せらのふるさと給食 ～』事業の継続

生産者・学校・給食センターが食でつながり、生産者の工夫や苦勞に気付くことで、感謝の気持ちを持って給食を食べる児童が増え、一連の取組を通して食に関心を持ち、さらに家庭でも給食について話題にできる機会となっている。



学校

- ・ 資料掲示，給食時間の放送
- ・ 食べた感想を手紙にし生産者へ届ける
- ・ 給食時間の風景をテレビ放映

給食センター

- ・ 農家取材と掲示資料の作成
- ・ 旬の食材を使った給食作り
- ・ 当日のレシピを広報誌に掲載し情報提供



② 食に関する年間計画をもとに各担任や講師とのT・T授業の実施

《 家庭科・生活科・総合学習・学級活動・給食時間 》

- ・ 地元の野菜や郷土に対する興味関心とともに、野菜づくりを通して野菜が育つ過程や収穫の喜びを感じる体験となった。

- 生産者の講話
- とうもろこしの皮むき体験
- 育てた野菜でスープ作り
- 健康食育朝会での地場産物クイズや教職員による地元の地場産物の紹介



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・ 世羅町内統一献立の実施 …… 10月17日
- ・ 掲示資料の作成
- ・ 全校朝会での献立紹介
- ・ 給食時間中に使用した食材の紹介
- ・ 給食献立表，給食だよりに掲載して保護者への情報発信
- ・ 校内マラソン大会で「熱く燃えろ！！Cスープ」の試食提供
- ・ ファミリークッキングで食生活改善推進委員と一緒に調理実習



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・ 全4回のレシピ応募の参加が70%であり，前年度65%より上回る結果となった。
- ・ 5学年以上は毎回95%以上の参加があった。

	28年度	29年度
応募数	488 作品	536 作品
家庭数	184/284	178/255

【課題】

- ・ 応募に積極的な家庭がある反面，応募しない家庭が固定化している。

6 今後の取組に向けた改善方策について

【校内連携】

- ・ 低中学年でレシピ応募に参加する家庭が少ない実態があったので募集内容を随時検討し，学校全体で参加できるよう取り組んでいく。

【家庭との連携】

- ・ 給食だよりやホームページを充実させ，校内の実態や情報の発信をし，家庭で食に関する意識が高まるよう取り組んでいく。